

事務事業名		観光振興事業		目標設定日	令和2年3月1日
				部・局	経済部
総合計画体系	基本政策	3	にぎわいと活力あふれるまちづくり	課・室	営業推進課
	政策	05	観光・交流の振興	係	観光交流係
	施策	02	交流の振興	内線電話	258
予算体系	会計	一般会計		実施計画	
	款	7款	商工費	計上	
	項	1項	商工費	実施期間	
	目	3目	観光費	平成27年度 ~	

目指す姿	対象（誰のために）	外国人を含む市外からの来訪者	意図（どのような状態にしたいのか）	適切な情報提供や案内等を行い、市内来訪者数を増やし、満足度を上げる。
	現状・課題	評価の基準となる観光統計の基準が曖昧であること 観光振興の体制整備		
市が行う理由及びその根拠	任意的自治事務	観光客による経済効果をもたらすため		
事務事業概要	観光振興の体制整備、広告宣伝、信州なかの産業・観光公社事業委託、誘客促進			
令和2年度の活動指標アウトプット	活動内容		活動量	
	総合観光パンフレット新規作成		総合観光パンフレット30,000部	
	(一財)信州なかの・産業公社へ委託		観光振興委託料14,853千円	
	SEA TO SUMMIT負担金（実施計画事業）		事業費補助2,200千円	
	地域おこし協力隊の活動支援（シティプロモーション事業）		通年	

事務イン 事業プ ット	項目		単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	予算額	当初予算		円	30,437,000	22,294,000
補正・流用等		円			-	
合計		円	30,437,000	22,294,000	27,015,000	
決算（見込）額 A			円	27,693,906	22,294,000	-
財源内訳	国庫支出金		円	180,000	180,000	234,000
	県支出金		円			
	市債		円			
	その他特定財源		円			900,000
R2は予算額	一般財源		円	27,513,906	22,114,000	25,881,000
正規職員数			人	1.37	1.51	1.31
人件費 B			円	8,814,580	9,727,420	8,439,020
総事業費 A+B			円	36,508,486	32,021,420	35,454,020
市民1人当たりコスト			円	853	753	836

成果指標	アウトカム	方向	平成30年度		令和元年度		令和2年度		
観光統計調査による延べ利用者数の維持		維持	目標	503,000	人	490,000	人	460,000	人
			成果	482,700	人	458,200	人	-	
SEA TO SUMMIT参加者数		増加	目標	200	人	200	人	210	人
			成果	186	人	213	人	-	
成果指標と目標値を設定した理由	過去の観光客推移により、前年度の数値を目標値とし、観光振興を推進するため。								

令和2年度の実施方針	重点的に実施	活動量	増やす	コスト	維持する	成果	上げる
	千曲川・高社山SEA TO SUMMITを開催することでの知名度向上、地域おこし協力隊の活動支援、(一財)信州なかの産業・観光公社の体制強化						

